

対象年度	令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	農業振興事業(農林航空防除事業)					予算事業名	農業振興事業費
予算科目	会計	01	款 06	項 01	目 03	事業 11	要求区分 経常経費
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 特色ある農業の振興と活性化 農村環境の保全					事業の区分	主要事業
						担当課係等	農政課 農政係 農業係
事業期間	継続 (年度～ 年度)						
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
(航空防除)・稲への農薬の一斉散布や良質な種子の生産への支援を行い、品質の良い米の産地を育成する。 ・長期的に農業の振興を図るべき土地を明らかにし、土地の有効利用と農業の健全な発展を図る。				(航空防除) 地域農業の持続的な発展を支援するため、農業団体に対する支援が必要であったため。 (収入保険加入支援) 県西農済管轄内の数市町で同様の補助あり。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
(航空防除) 安定的・高品質な米の生産を図るため、水稻への広域的な農薬の散布による病害虫の一斉防除を行う。 (収入保険加入支援) 全国農業共済組合連合会と業務委託契約を締結する茨城県西農業共済組合が取り扱う農業経営収入保険の加入者が負担する保険料の一部について、支援金を交付する。 (農業振興地域整備計画) 茨城県が定める茨城県農業振興地域整備基本方針に沿って、結城市農業振興地域整備計画を見直す(令和7年度、令和8年度)				(航空防除) 農業者や農業生産振興を目的とした団体 (収入保険加入支援) 当該保険の加入者			
				【事業をとりまく環境の変化】			
				(航空防除) 作物を生産する場において様々な病害虫による被害が発生するため、適正な病害虫防除施策が必要である。 (収入保険加入支援) 令和元年制度化。農業収入に着目した保険制度であり、他の各共済等とは一線を画す。			
【令和7年度 事業内容】		【令和8年度 事業内容】			【令和9年度 事業内容】		
・優良な種子の継続的な生産、高品質な米の生産のために活動する団体や地域の農業生産振興を目的とした団体に対し補助金を交付する。 ・結城市農業振興地域整備計画を見直す。		・優良な種子の継続的な生産、高品質な米の生産のために活動する団体や地域の農業生産振興を目的とした団体に対し補助金を交付する。 ・結城市農業振興地域整備計画を見直す。			・優良な種子の継続的な生産、高品質な米の生産のために活動する団体や地域の農業生産振興を目的とした団体に対し補助金を交付する。		
■事業費							
財源内訳	国庫支出金		R05年度	R06年度			
	県支出金		0	0			
	地方債		0	0			
	その他		0	0			
	一般財源		8,869	8,827			
歳入計(千円)			8,869	8,827			
歳出内訳	節(番号+名称)		金額(千円)	金額(千円)			
	07 報償費		6	7			
	12 委託料		350	350			
	18 負担金補助及び交付金		8,513	8,470			
	歳出計(千円)(A)		8,869	8,827			
伸び率(%)				-0.47			
備考	総合計画85ページ 予算書128ページ 事業費は農林航空防除事業以外の農業振興事業費を含む						

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	航空防除) 無人ヘリコプター稼働機数	機	目標	42.00	30.00	30.00
	農林航空防除実施部隊である無人ヘリの延べ稼働機数		実績	42.00	0.00	0.00
	収入保険加入支援) 取扱事務協定	協定	目標	1.00	1.00	1.00
	収入保険事業取扱者である県西農産との事務協定		実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	航空防除) 散布面積	ha	目標	620.00	580.77	580.00
			実績	606.43	0.00	0.00
	収入保険加入支援) 保険加入戸数	戸	目標	132.00	136.00	136.00
			実績	131.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	(空散) 病害虫の一斉防除には、広範な区域において農薬の散布が求められるため、本事業を実施することで病害虫の被害を最小限に抑えることが期待できる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	(空散) 行政・農協・共済組合により実施本部を設置しており、妥当と考える。
	手段の妥当性	A 妥当である	(空散) 散布エリアの確定、散布時間等から考えて無人ヘリによる一斉防除が最も有効な手段である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	(空散) 市内全域を一斉に防除するため、コスト効率・人員効率ともに良いと考える。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	(空散) 散布面積は水稻の作付け面積の減少に合わせ減少傾向にあるが、空散実施に合わせ個人での防除を行う者もいるため。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	(空散) 散布面積は水稻の作付け面積の減少に合わせ減少傾向にあるが、空散実施に合わせ個人での防除を行う者もいるため。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	(空散) 散布面積は水稻の作付け面積の減少に合わせ減少傾向にあるが、空散実施に合わせ個人での防除を行う者もいるため。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
(空散) 害虫により発生時期が異なり、空散の実施時期については苦慮している。また害虫の発生に併せて複数回の実施については他作物の生産行(トウモロコシの朝(深夜)採り)、人員の確保・予算等の問題も生じてくる。耕作放棄地(空散を行わない)の増加は、一斉防除においては害虫の避難先となってしまう、効果が低くなる可能性がある。また害虫の発生源となる可能性もあることから、当該事業の趣旨から外れるが耕作放棄地の再生についても検討していく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
(空散) 県西地区ではイネ縮葉枯病の発症率約10~15%と県内でも高い値を示している。またカメムシの大量発生など米に対する害虫の発生が懸念されるため、一斉防除の効果に対する期待は高い。併せて圃場の管理・耕作放棄地の解消・再生などについての周知を行うことで病害虫の発生抑止に務める必要もあると考える。			

■方向性

1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 拡充(人・モノ・カネ等の拡充) <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続(改善・改革なし) <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
方向性の具体的内容 無人ヘリによる水稻への一斉防除は品質の良い米の産地を育成するために有効な手段であり、今後も実施主体である市農林航空防除実施本部への補助を継続する。 収入保険加入支援) 当該保険は令和元年に制度化されたためまだ新しく、周知といった意味でも一定期間の補助は有効と考えられる。
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 拡充(人・モノ・カネ等の拡充) <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続(改善・改革なし) <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 上記評価のとおり